



俳優座劇場プロデュース No. 113

音楽劇

母さん

♪ピアノとバイオリンの生演奏で贈る
サトウハチローの詩と母の物語♪



作 堀江安夫
演出 横山由和
音楽 新垣雄



出演(配役順)

土居裕子

阿部裕

町屋圭祐

福沢良一

浅野雅博

仲本詩菜

佐藤礼菜

小暮智美

ピアノ演奏
新垣雄

バイオリン演奏
植村薫

協力=サトウハチロー記念館
土居裕子
紀伊國屋演劇賞個人賞受賞(2019年)

2021年/第324回 旭川市民劇場12月例会

12月14日(火) 6:30
15日(水) 1:00

会場/旭川市公会堂 上演時間 2時間35分 (休憩15分含む)

入会のご案内

入会金	2,000円	会員になると 年6回の演劇を 鑑賞できます。 詳しくは旭川 市民劇場まで。
会費(月)	一般 2,500円	
	大学生 1,000円	
	中高生 500円	

次例会のご案内

2022年2月例会アリエール公演 旭川市公会堂
『銀色のライセンス』
2月9日(水) 6:30 作/福島三郎 出演/竹内都子
10日(木) 1:30 出演/中西良太ほか

旭川市民劇場 旭川市3条通8丁目 緑橋ビル1号館2F TEL0166-23-1655

音楽劇

母さん

作 堀江安夫
演出 横山由和
音楽 新垣 雄

美術 石井強司
照明 桜井真澄
音響 藤平美保子
衣裳 久保田俊一
振付 鷺田実土里
歌唱指導 新垣 雄
舞台監督 泉 泰至
演出助手 松川美子
宣伝写真 飯田研紀
宣伝美術 ミネマツムツミ
企画制作 俳優座劇場
協力 サトウハチロー記念館

かいせつ

『リンゴの唄』『長崎の鐘』『ちいさい秋みつけた』『悲しくてやりきれない』など、誰もが一度は口ずさんだことのある歌を数多く遺したサトウハチロー。

心に沁みる詩からは想像もつかないほど彼は奔放に生きた。そして彼の詩に大きな影響を与えた母・春。家族の間にあった愛情と確執はハチローの人生を翻弄する。それでも彼が詩に託した心とは――。

珠玉の愛唱歌に、新垣雄によるオリジナルの曲を加え、ピアノとバイオリンの生演奏でお贈りする感動の舞台!!



阿部 裕
(オフィスクロキ)



土居裕子
(プランニング・クレア)



福沢良一
(S1プロデュース)



町屋圭祐
(昴)



仲本詩菜
(ACT JP エンターテイメント)



浅野雅博
(文学座)



小暮智美
(青年座)



佐藤礼菜
(俳優座)



バイオリン演奏
植村 薫



ピアノ演奏
新垣 雄

あらすじ

昭和十九年の夏。詩人の八郎は、入隊を望む息子・忠の反抗的な態度に手を焼いていた。だが八郎もまた少年の頃、父に反発していたのだった。

放蕩な父・紅緑のため十代半ばで母・春と別居することになった八郎は警察沙汰を繰り返して、中学を退学、離島に送られるはめになる。助けを求める八郎に、為す術もない春。「なぜ俺がこんな目に遭うんだ。あんたが俺を捨てたからだ。あんたは冷たい、丸ごと母親失格だ……」すれ違った思いのまま、八郎が二十二歳の時に春は世を去ってしまう。時が経ち、詩集『おかあさん』でベストセラー作家となった八郎だったが……。